

このページは、直接入力できません。そのまま見るか印刷して使ってくださいね

おもしろ国語②3

川柳をつくってみよう



夏の夜は まだ宵ながら 明けぬるを 雲のいづこに 月宿るらむ

清原 深養父

〇これは短歌といえます。5・7・5・7・7の三十一音からできています。

柿くへば 鐘が鳴るなり 法隆寺 正岡 子規

〇千年以上前から続いている短歌から、江戸時代になると俳句が生まれました。これは、三十一音のうち、上半分の5・7・5 十七音だけが歌われるようになったもので、必ず季語を入れるという約束があります。(季語 季節を表す定められた語) 〇川柳も5・7・5の十七音のところは同じですが、季語は入れずに何を詠んでもかまいません。みなさんもぜひ作ってみてください。

【小学生が作った川柳】

朝の会 まだまだ続くよ 長話

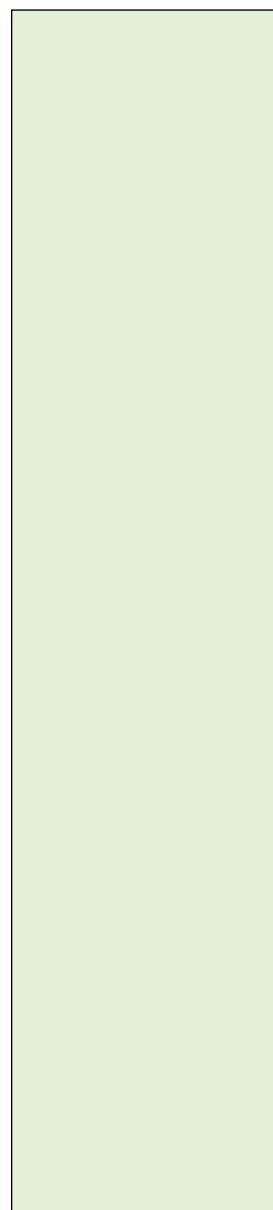
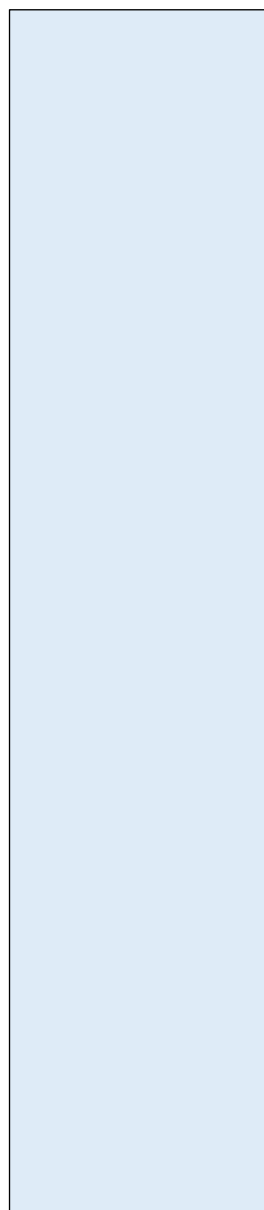
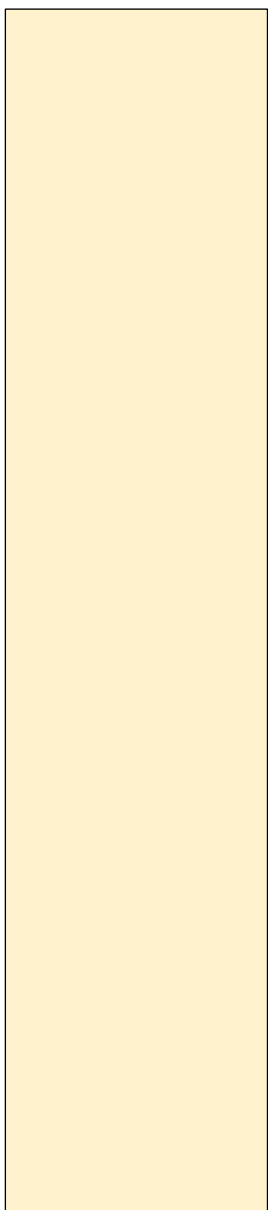
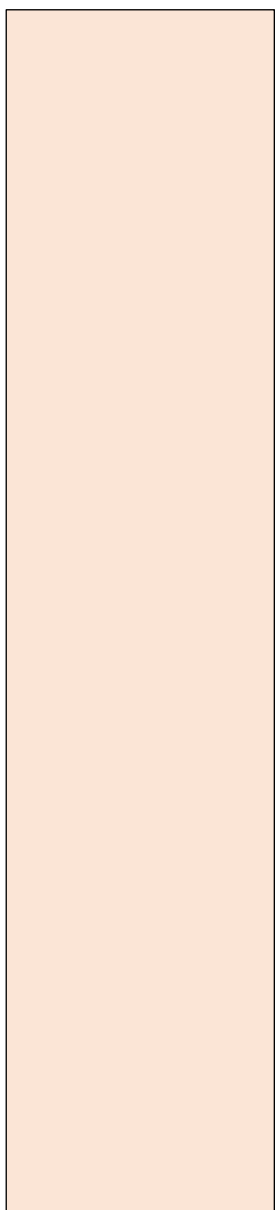
はらへった 時計を見たら 2時間目

お父さん たまには ゆっくり休んでね

ピカソの絵 どじが芸術 首ひねる

桃太郎 桃から生まれる はずはない





月
日

作者